

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	淀川区
学 校 名	加島小学校
学校長名	西岡 貴史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小学校では、第6学年 85 名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の本校の平均正答率は、国語・算数ともに全国平均を下回る結果となった。国語で6.7P、算数で1.2Pの差があった。一昨年前は、国語で11.8P、算数で6.6Pの差があったことから、国語・算数ともに力がついてきたことがうかがわれる。とくに算数では大阪市平均に達することもできた。しかしながら、A「数と計算」の領域では大阪市や全国の平均を大きく下回っていた。全体としては、下位層が多く、上位層が少ない傾向がある。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

目的に応じて、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けたり、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する力が弱い。また、文の中における修飾と被修飾との関係を捉える力にも課題が見られた。一方、語句の使い方を理解し、話や文章の中で使ったり、目的や意図に応じて資料を使って話したりする問題はよくできていた。国語科を研究し、対話的な授業づくりをめざして、友だちの意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりする活動を進めてきた成果といえる。しかしながら、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫したり、文章全体の構成や展開を考えたりする力についてはおらず、漢字の書き取りの力にも斑があることが分かった。

〔算数〕

棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることは大変良くできていた。また、速さや道のりを基に時間を求めたり、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察したりする問題も正答率が高かった。一方で、図形を構成する要素などに着目して面積を求めたり、場面から数量の関係を捉えて式に表して計算したりする力が弱いことが分かった。

質問紙調査より

生活面では「朝食を毎日食べる」「自分には、よいところがある」「学校に行くのは楽しいと思う」などの質問で、肯定的回答が全国平均を上回っていた。人権教育を進め、子どもたちにとって学校が楽しい居場所となるよう教育活動を進めてきたことの成果ともいえる。一方で「毎日、同じくらいの時間に寝ている」「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、肯定的回答が大きく全国平均を下回っており、家庭における基本的な生活習慣に課題があることが分かった。

今後の取組(アクションプラン)

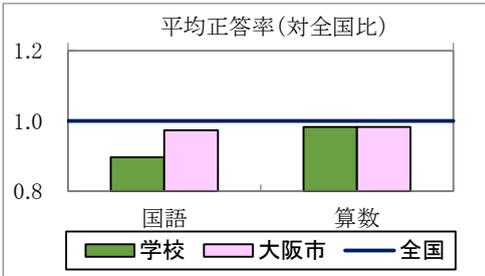
新型コロナウイルスの感染拡大で学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送り、計画的に学習を続けることのできた児童の割合が少なかった。コロナ禍で子どもたちも不安な毎日を過ごしていることが分かる。今後も家庭と連携しながら、規則正しい生活習慣が身に付くよう、また、子どもたちに安心感が与えられるような教育活動を工夫しながら実施していきたい。

学力面では、記述式問題を解くために必要な「読解力」「思考力」「表現力」を養うため、土台となる知識や技能を様々な言語活動によって育成していく。新聞や本を読まない児童も多いため、校内で子ども新聞を掲示したり、読書環境を整えたりするとともに、国語科で、子どもたちが主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できるようになるための指導法の研究を推進していく。算数科では、数と計算領域の定着を図るため、今後も習熟度別少人数授業を丁寧に実施し、個に応じた指導を行うとともに、学んだ知識・技能を活用するよさを感じとらせる学習の工夫をしていく。

【 全体の概要 】

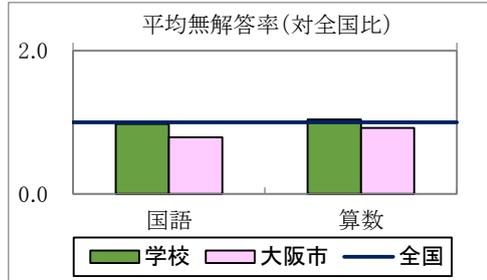
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	58.0	69.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	4.2	2.7
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



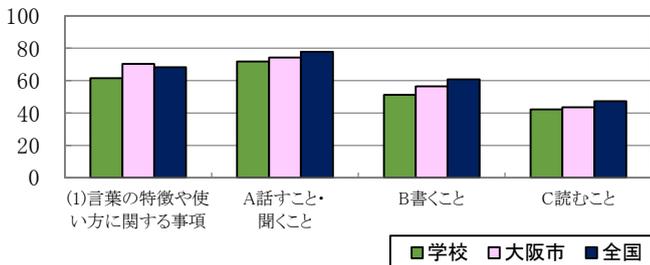
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	61.5	70.3	68.3
(2)情報の扱い方に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	71.8	74.3	77.8
B 書くこと	2	51.3	56.4	60.7
C 読むこと	3	42.3	43.5	47.2

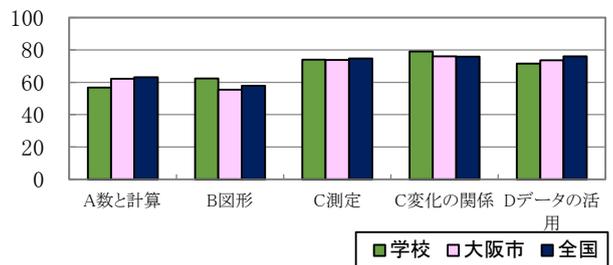
【 算数 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	56.7	62.2	63.1
B 図形	3	62.4	55.4	57.9
C 測定	3	73.9	73.8	74.8
C 変化と関係	3	79.1	76.0	75.9
D データの活用	5	71.5	73.6	76.0

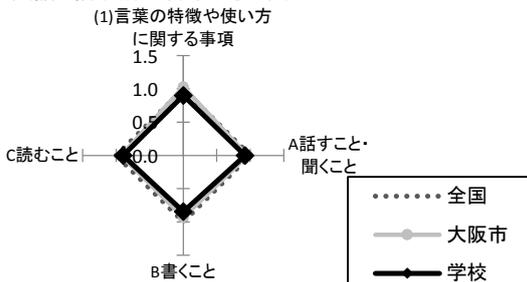
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



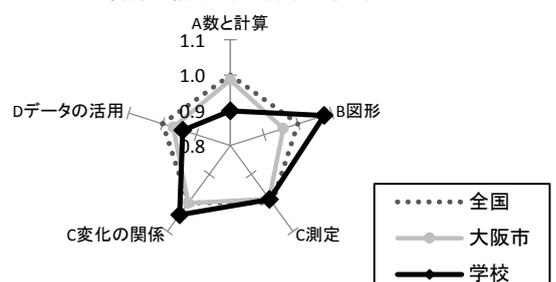
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

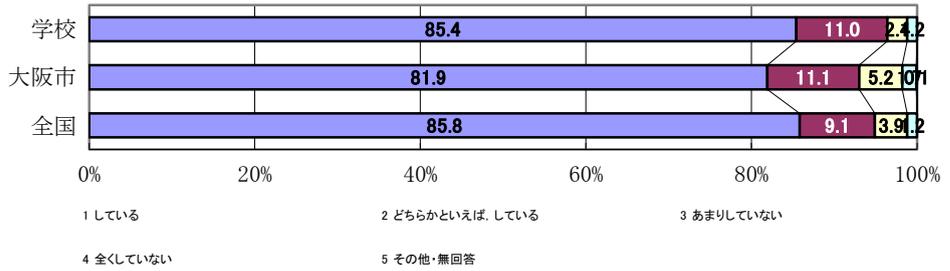
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

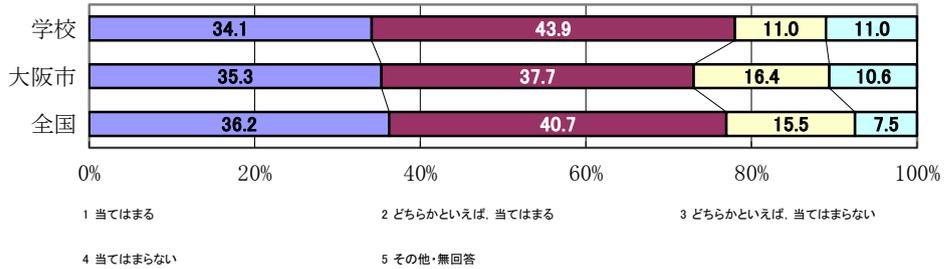
1

朝食を毎日食べていますか



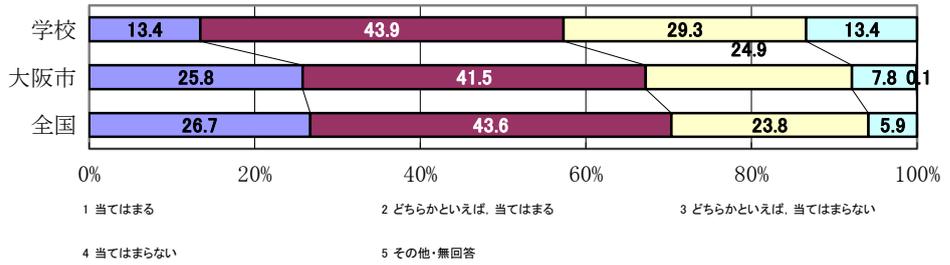
6

自分には、よいところがあると思いますか



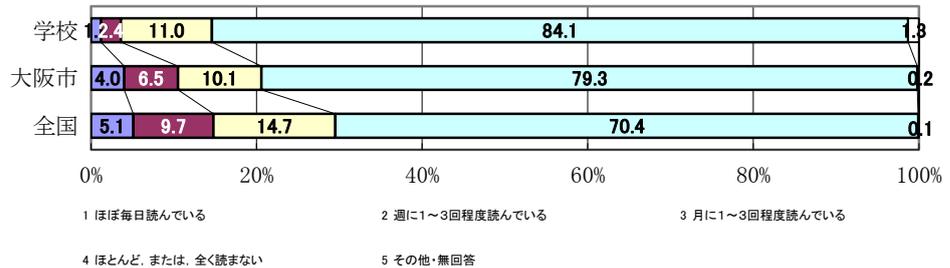
14

自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか



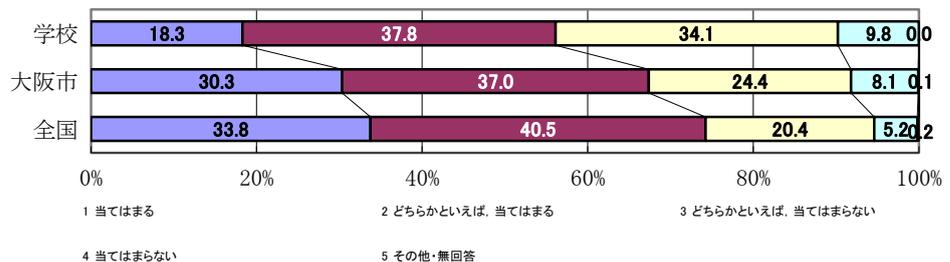
23

新聞を読んでいますか



50

国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか



学校質問紙より

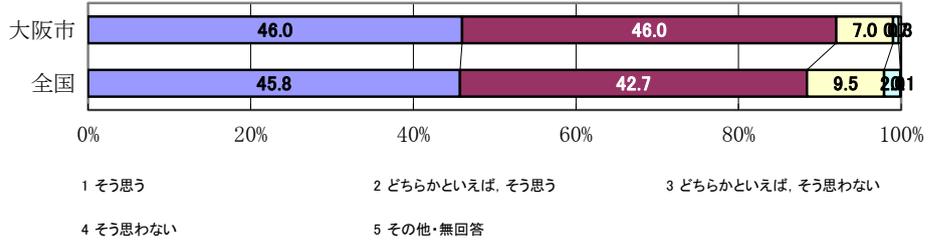
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号

質問事項

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

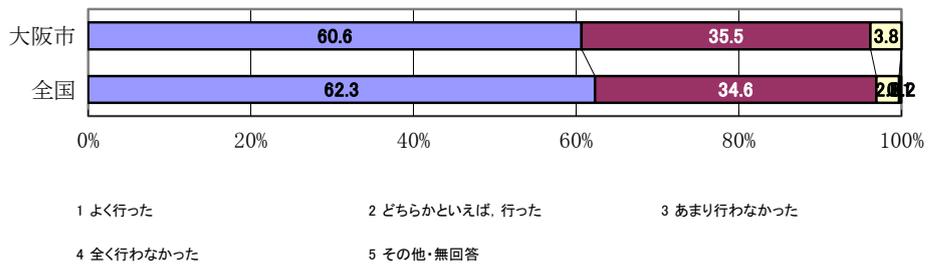
学校 「そう思う」を選択



10

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(他の人が話している時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持しましたか

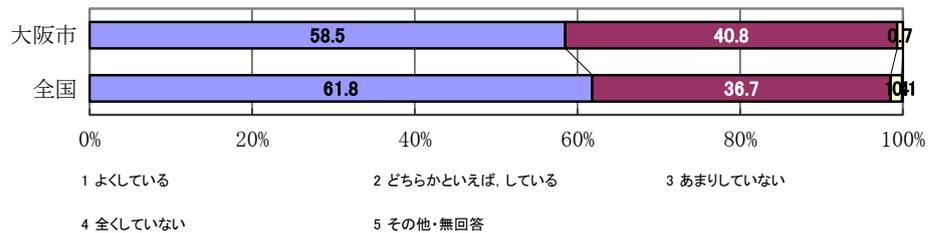
学校 「よく行った」を選択



22

校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか

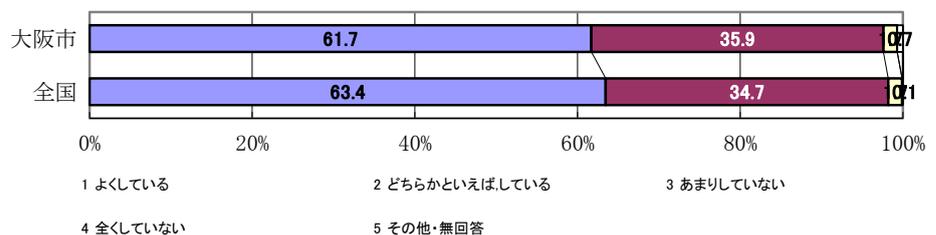
学校 「よくしている」を選択



23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



66

前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

